稲盛和夫経営道場

37

経験則を重視する

企業での技術開発やものづくりには経験則が不可欠です。理論だけではものはできません。

たとえばセラミックの場合、原料である粉体を混ぜて成型し、高温で焼けばでき上がるということは、勉強さえすれば誰でも理解できます。ところが、粉体を混ぜるということがどういうことなのかは、実際に自分で手を染めて苦労してやってみないと決して分かりません。液体や気体なら完全な混合ができますが、粉体はどこまで混ぜたら混ざったといえるのか、これは経験則でしか分からない世界です。

この経験則と理論がかみ合ってはじめて、すばらしい技術開発やものづくりができるのです。

手の切れるような製品をつくる

私たちがつくる製品は、「手の切れるような製品」でなくてはなりません。それは、たとえばまっさらなお札のように、見るからに鋭い切れ味や手ざわりを感じさせるすばらしい製品のことです。

製品にはつくった人の心があらわれます。ラフな人がつくったものはラフなものに、繊細な人がつくったものは繊細なものになります。たくさんの製品をつくって、その中から良品を選ぶというような発想では、決してお客様に喜んでいただけるような製品はできません。

完璧な作業工程のもとに、一つの不良も出さないように全員が神経を集中して作業にあたり、ひとつひとつが完璧である製品づくりを目指さなければなりません。



稲盛和夫 *Inamori Kazuo*

1932年-2022年　鹿児島市生まれ。1959年4月、京都セラミック株式会社（現京セラ）を設立。2005年からは名誉会長。また1984年、第二電電企画株式会社を設立。2000年10月、DDI（第二電電）、KDD、IDOの合併によりKDDI株式会社を設立。2001年6月より最高顧問。2010年2月、日本航空会長に就任。2015年4月に名誉顧問。一方、1983年から2019年末まで、ボランティアで、14,938人の経営者が集まる経営塾「盛和塾」の塾長として、経営者の育成に心血を注いだ。1984年には私財を投じ稲盛財団を設立。同時に国際賞「京都賞」を創設し、毎年、人類社会の進歩発展に功績のあった方々を顕彰。

＜連絡先＞
盛心塾ニューヨーク
www.seishinjukuny.org

スライドメソッドで英語をCATCH! モリヤマハルカ 49



なぜ“Let it be”が「レットイットビー」に聞こえないのか？

こんな歌、聞いたことがありますか？

Let it be, let it be, let it be, let it be…

ビートルズの名曲ですが、日本人の多くが最初にこう思います。「えっ？なんて言った？レットイットビーって…聞こえない！」

実はこれ、とても自然な反応です。

というのも、私たちが英語を「文字のまま発音するもの」だと思っている限り、このような歌詞やセリフは聞き取れません。

英語は、文字ではなくリズムと音の流れでできている言語です。

“Let it be”はたしかに3語のはずなのに、英語のリズムの中では、一つの音のかたまりのように滑らかに流れていきます。

音と音がつながったり、弱くなったり、消えたり。でもそれは手抜きではなく、リズムに従って自然にそうなるだけのこと。強く響くのは、“Let”の母音くらい。“it”はすっと脱け、“be”は最後にふわっと添えられるだけです。

つまり、「全部の単語をハッキリ聞こう」とすると、英語のリズムはつかめません。

文字ではなく、英語の音のつながりで自然に起こる物理音に耳をすませたとき、英語は初めて、あなたの耳に届くようになるのです。

モリヤマハルカ：スライドメソッド開発者／講師。「最強英語発音メソッド」著者。
slidemethod.com

1杯28ドルのコーヒー クライスラービルで提供中

ロンドンのカフェチェーン出店

NYの生活について、ベストな楽しみ方、飲食店、劇場の見どころなどを、専門家であるエディターが紹介する連載コラム「Let Me Tell You」で語られた、フード&ドリンク・エディターのモーガン・カーターの記事によると、NYで最も高価なコーヒーのひとつがクライスラービルで味わえるという。

ロンドンを拠点とするカフェチェーン「ウォッチハウス（WatchHouse）」が、米国初の店舗をクライスラービル1階（レキシントン街405番地、42丁目）にオープン。モダンコーヒーをコンセプトに、コーヒー、フード、空間、サービス、人といった要素を通じて特別な体験を提供する店で、NY店ではコーヒーチェリーをイメージした鮮やかな赤色をアクセントに取り入れた内装となっている。

カーター氏の記事によると、エスプレッソ、フラットホワイト、コールドブリュー、紅茶、抹茶等のメニューのほか、世界中から取り寄せた特別なコーヒーを提供するキュレーション・コレクションを用意。カーター氏が訪れたときは、一番高いコーヒーで28ドルだったという。

同店のレアリティーズプログラムの一杯の値段は14ドルから52ドル。これらの希少なコーヒーは新鮮さを保つために小分けにされ、冷凍保存され、一杯ずつ注いで飲むように準備されている。ウォッチハウスの標準的なコーヒーは3ドル程度。

メニューなど詳細は公式サイトhttps://watchhouse.com/を参照。

NYCレストラン週間

市内600店が参加



今年で33年目を迎える「NYCレストランウィーク」が8月17日まで開催されている。ニューヨーク市5区にある約600店のレストランで、2コースまたは3コースのランチ／ディナーが30ドル、45ドル、または60ドルのプリフィックスメニューで提供される。参加レストランは、ランチ、ディナーのいずれか、または両方を提供する。土曜は休みだが、多くのレストランでは日曜もブランチやディナーのスペシャルメニューを用意している。人気店はすぐに予約でいっぱいになるので、予約を推奨する。普段はなかなか足を踏み入れづらい高級店やスターシェフのいる店の料理を楽しめる機会となる。

参加レストランのリストや予約はウェブサイトhttps://www.nyctourism.com/restaurant-week を参照する。

●移民法 [E、H、I、L、Oなどの各種ビザ及び永住権]
●会社法 [会社設立、運営、NPO設立含]
●芸術に関する法 [著作権、契約]

当事務所では、クライアントの立場にたち、それぞれのケースに合わせた的確なアドバイスとビザ取得のお手伝いを致します。特に、O-1ビザについては、過去5年間で約500件を超える申請のお手伝い、並びに取得の実績を誇っています。

加藤恵子 Law Office of Keiko Kato 法律事務所
●米国移民法弁護士協会所属
●エンターテイメント・スポーツ法弁護士委員会所属
●Alliance for Business Professional Services所属
Phone: 1.212.521.4046
Fax: 1.212.541.3944
E-mail: kkatonyc@earthlink.net
1325 Avenue of the Americas, 27th Fl.
New York, NY 10019

New Jersey州で移民法のことなら NPZ弁護士事務所
VISASERVE Nachman, Phulwani, Zimovcak Law Group, P.C. Immigration and Nationality Law
グリーンカードや就労ビザ、その他さまざまなビザサポートを行っています。
（代表）：201-670-0006 / info@visaserve.com
日本人スタッフが適切に対応致しますので安心してご相談下さい。
Mina（日本人スタッフ）：201-670-0006 (ext.109)/ mina_tanaka@visaserve.com
ニュージャージーオフィス(2拠点)
VISASERVE Plaza, 487 Goffle Road, Ridgewood, NJ 07450
907 Route 202 North, Raritan, NJ 08869
ニューヨークオフィス
1180 Avenue of the Americas, 8th Floor, New York, NY 10036
弁護士 デイヴィット ナックマン David H. Nachman, Esq.
ニュースレターご希望の方は、TEXTで22828へ"NPZLAWGROUP" と送信してください。
website: www.visaserve.com

パソコン修理
ご相談下さい
Atomパソコン修理サービス
Tel (212) 213-6069 週刊NY生活事務所内

テレビジャパン → Jme
接続お手伝いします。
接続の仕方がよく分からない方に有料サービスをご紹介します。詳しくはJmeカスタマーサービス：電話1-877-885-2726まで。

日本語印刷と名入り販促品
のことなら、何でもお任せ下さい。
●名刺、レターヘッド、封筒、挨拶状、ラベル、ブロシュアー、メニュー等印刷物全般のデザインと印刷
●T-シャツ/ポロシャツ、マグカップ、ゴルフボール、カレンダー、時計、ペン、ショッピングバッグ等へのロゴ及び会社名の印刷
HONDA GRAPHICS
www.hondag.com
(201) 461-0700

ウェブ版独自コンテンツ
週刊NY生活 ギャラリー
気鋭のアーティストの作品を展示販売。
掲載作家と作品は随時増えていきます。是非ご覧下さい!
出展アーティストも募集中!!
（1人、1年間10作品掲載可能）
出展費などお問合せは担当三浦まで
miura@nyseikatsu.com
https://nyseikatsu.com/gallery/